

Fuji Champion Race Series Round 4

29-30 August 2015

ROADSTER CUP NA6/NA8/NB8

Round 3



後半戦を迎えたこのクラス、チャンピオン争いもまだまだわからない。朝の予選時にはまだ路面はドライで行なわれ、トップタイムのポールポジションはNB8 91 samsproロードスター 神谷誠 2'07,749。NA8は総合3番手99 なおしくるアクレ NA8 山田健介 2'08,549、NA6は総合4番手 7 大山ベリーアクレMotyNA6 茂木文明 2'08,768とクラスは違うが上位陣の激しい戦いになりそうなグリッド順となった。決勝スタート時には、すでにウェットコンディション。天候が気になる状態でスタートが切られ、2周目にトップへ躍り出たのは、16番手からスタートしたNB8 75 SPMアクレ☆池貝商会NB8 澤田薫、その後ろにはNA8 0 裕也眼科ケン オートベリーNA8 小原健一が総合8番手から上がった。8週のレースは最初にチェッカーを受けたのは75 澤田、0小原という結果となった。NA6は7 茂木が逃げ切り優勝した。NB8 75 澤田は「雨の状態とタイヤが功を奏しました」NA8 0 小原は「何度もぶっ飛ばかと思って走っていましたがラッキーでした」NA6 7 茂木は「セッティング変更はしたのですがここまで雨が強くなるとは思わずにヒヤヒヤしながら走ってました」とコメントしている



RESULT リザルト NA6

Rank No.	Name
1	7 茂木 文明
2	23 山川 稷
3	27 野木 強
4	76 辻本 均
5	5 入江 直



RESULT リザルト NA8

Rank No.	Name
1	0 小原 健一
2	88 山田 健介
3	81 松波 太郎



RESULT リザルト NB8

Rank No.	Name
1	75 澤田 薫
2	24 東 宗明
3	84 大矢 明夫
4	11 戸田 裕一
5	77 鈴木 勇太
6	40 古谷 彰教

FCR-F

Round 2



第2戦目となるこのレース、朝の予選ではドライコンディションの中、27 ホンダB18C 乾博貴が1'45,780のトップタイムでポールポジションからのスタート。フロントローには72 チームNATS・正義056 金井亮忠が1'45,891で並ぶ。雨も小降りになってきたが、路面はまだウェットという状況の中、決勝レースはスタートした。スタートでまさかのフロントロー2台が出遅れてしまい、オープニングラップを先頭で戻ってきたのは、4番手スタートの31 K'sR-MASA006SPM 大竹将光、そこに77 アルボルアルデアCMS006 木村順と33CMS NUTEC056 武居義隆の3台で激しいトップ争い。12週のレースは10周目に77 木村がトップを奪いそのままチェッカーを受けた。接戦を勝ち抜いた木村はレース後「ギリギリまでタイヤをスリックで出ようとしていたけれど、監督にここはウェットでと言われ、天候も味方してくれました。いろいろな要素がすべて上手くいって勝てました。フォーミュラーでは初優勝なので嬉しい」と話していた



RESULT リザルト FCR-F

Rank No.	Name
1	77 木村 順
2	31 大竹 将光
3	33 武居 義隆
4	0 渡邊 義人
5	27 乾 博貴
6	29 細川 義成

ROADSTER CUP NC/DEMIO RACE/8Beat Round 3



こちら今回が第3戦で後半戦に突入した。予選でトップタイムを出したのは8Beat JP2R 99 プロコンポジットBLITZ86 古田聡 2'04,461、RSC NCはオープンクラス8 ☆ドライダーロードスターアクレ 菊池聡が2'09,769でトップ、その後ろにはNCチャレンジトップの71 クロハチ☆ED☆ロードスター 登坂紀が2'10,582。デミオでは、クリーンディーゼルの55 DO-ENGオクヤマデミオ 町田垂矢が2'18,433のトップタイムをマークした。決勝は序盤から激しい2番手争いが続き、その隙にポールスタートの99 古田が徐々に引き離しにかけ、ポールトゥウィンを遂げた。NCは最終ラップに7 joy☆abmoty'sRS 高橋裕史が前に出て優勝、NCチャレンジは71登坂、デミオは55町田が逃げ切った。99古田は「途中から2位争いをしてくれて助かりました」7高橋は「子供の2歳の誕生日です。置いてここに来てしまったので良いプレゼントを持って帰れます」71登坂は「雨で厳しいレースでしたが最終戦はスカッと晴れて欲しい。連勝目指します」55町田は「めっちゃ嬉しい！今までディーゼルで思うようにセッティングを出せなかったけれど、いろいろな注文をメカさん達が応えてくれて、ようやく勝てました」と話していた



RESULT リザルト NC-O

Rank No.	Name
1	7 高橋 裕史
2	8 菊池 聡
3	25 橋川 学



RESULT リザルト NC-C

Rank No.	Name
1	71 登坂 紀
2	70 内海 利明
3	18 らんまん
4	22 中桐 孝治



RESULT リザルト DEMIO RACE

Rank No.	Name
1	55 町田 垂矢
2	34 常盤 岳史
3	75 西山 隆
4	21 新井 敏克
5	51 戸田 和彦
6	38 古閑 宏



RESULT リザルト 8Beat 2R

Rank No.	Name
1	99 古田 聡



RESULT リザルト 8Beat 2S

Rank No.	Name
1	12 ウズラ
2	05 稲田 昌文
3	08 AKKY



RESULT リザルト 8Beat 3S

Rank No.	Name
1	77 佐藤 圭
2	6 坂本 猛彦
3	1 木幡 修一郎
4	136 今堀 隆三郎

Super FJ Round 4



残り2戦となったS-FJ、第4戦の予選トップタイムは、ここまでのランキング4位 22 150WINユニルオパール10V 赤堀憲臣 1'52,901。そこにランキングトップの36 アルビGIA玉三郎10V ED 深村匠が1'53,173で続く。このクラスも予選時にはドライコンディションだったが、決勝スタートの頃には雨も強く落ちてきている。スタート方式がSC先導に変更され、2周周回したところで降雨量がさらに増えたので赤旗が提示され、全車もう一度グリットにつき天候回復を10分ほど待つ。2度目のスタートもSC先導で開始されたが、12週のレースは半分の6周終了時点で天候改善が見込まれないために終了となった。優勝は22赤堀、2位に36 深村、3位は45 ガレージ茶畑10V ED Chang Lutaoという予選順位がそのまま順位結果となった。22 赤堀は「とても危険な雨量だったので、この中でレースをやらないという判断は正しかったと思います。このような形での優勝ですが、いかに予選が大事なということに改めて思いました」と話していた



RESULT リザルト Super FJ

Rank No.	Name
1	22 赤堀 憲臣
2	36 深村 匠
3	45 Chang Lutao
4	18 飯嶋 郁陽
5	20 加納 亨介
6	19 小松 圭佑

AE111/ROADSTER NA6

Round 3



こちらら第3戦目になるクラス。日曜朝一番で行なわれた予選はすでにウェット路面、その中でポールポジションを決めたのはAE111 18 速心ACRE塩岡スピードレビン 塩岡雅敏 2'11.976のタイム。RSC NA6クラストップは2 コーンズロードスター 雨宮恵司 2'27.059。この予選結果からすると、ここまでのランキングはまた混沌となってきた。決勝スタートの時にまだ雨がかなり落ちていた天候。AE111クラスはポールの18 塩岡が後続を抑えてトップチェッカーを受けたが、ペナルティで40秒加算となり、優勝は91 MAS・IDI・DLレビン 船木周一。一方RSC NA6はかなりの激戦、その中で5周目にトップに立ったのは9番手スタートから追いつけてきた8 i-MAGICμロードスターの福永健二、そのままトップでチェッカーを受けた。91船木は「中盤でタイヤがきつくなってきたので、ミスなくチェッカーを受けようとして走っていました」8 福永は「ウェットは苦手だったけれど、マシンを乗りやすくセッティングしていただいたのが上手く合いました。ブービーからのスタートで勝ててすごく嬉しい！」とコメント



RESULT リザルト AE111

Rank No.	Name
1	91 船木 周一
2	18 塩岡 雅敏
3	19 加田 充
4	11 白井 利明
5	76 石井 京子
6	32 松川 智泰



RESULT リザルト ROADSTER

Rank No.	Name
1	8 福永 健二
2	24 田辺 良輔
3	43 大井 正伸
4	2 雨宮 恵司
5	1 大野 俊哉
6	22 小林 弘典

N1400/N1000/DEMIO(N1)

Round 3



シリーズ後半第3戦に入ったこのクラス。毎年の事ながら激しいチャンピオン争いが最後まで続きそうだ。雨の中、予選のトップタイムはN1400クラス 78 大沢自動車ED-WRS-82 大沢雄哉 2'22.008、N1000クラスは2 IDI・西砂タイヤ・Vitz あおきみのる 2'31.066、デミオは103 阿部組WM祝結婚25周年デミオ 嶋田直勝 2'23.817という結果。決勝レースはやはり大接戦、スタートの混戦を抜けてオープニングラップに戻ってきたのは21スノコμDLマリンAID82 大竹直だったが、ラスト2週のトップ争いで0 戸敷電設ミッドランドED82 戸敷直人がトップを奪い0.016秒の差でチェッカーを受けた。N1000は51 アライメント浜松ヴィッツ 清水悠佑が優勝。デミオは103 嶋田は逃げ切った。0戸敷は「タイヤ選択が成功しました」51清水は「いつも目標としていて、とても良くしてくださっている41佐藤さんに勝てて嬉しいです」103嶋田「代打出場で勝つことが出来てとても嬉しいです。今日は仕事の本人(R.P.M/H)には後で報告します」と話していた



RESULT リザルト N1400

Rank No.	Name
1	0 戸敷 直人
2	21 大竹 直
3	78 大沢 雄哉
4	31 内田 恒雄
5	72 高橋 ノボル
6	222 小野田 篤士



RESULT リザルト N1000

Rank No.	Name
1	51 清水 悠佑
2	41 佐藤 英二
3	54 垣生 彬
4	2 あおき みのる
5	27 山崎 じん
6	24 佐藤 和洋



RESULT リザルト DEMIO (N1)

Rank No.	Name
1	103 嶋田 直勝
2	8 大谷 淳

AE86/MR2/NA1600

Round 3



シリーズ後半に突入した第3戦、雨の予選でのトップタイムはNA1600 37 四季の森IDIウィンちゃん86 秋元優範 2'14.038、MR2は3 MSPLミューMOTYSMR2 土取謙太郎 2'16.141、AE86 240 ガレーシアネックス・μ・レビン山口崇 2'17.270、シルビアは15 お口の恋人シルビアμ 山崎浩明 2'27.228となっている。決勝もやはり雨が強く降っていて、1コーナーあたりは白く煙っている。好スタートを決めたNA1600 3番手スタートの99 パウアーハウス&サンIDI92 竹内がオープニングラップでトップに立ち徐々に後続に差を広げてトップチェッカーを受けた。MR2は3 土取がそのまま優勝。AE86は毎回のことながら激しいトップ争い、最後までコンマ差のバトルを続け優勝は36 SEASHOREアクレWレビン 大石重之が優勝した。99竹内「途中でマシントラブルが発生したけれど楽しかったです。走りこめていないので雨の方が良かった」36 大石は「86で初優勝！このメンバーでも接戦は最終戦も面白くなりそうです」



RESULT リザルト AE86

Rank No.	Name
1	36 大石 重之
2	40 柳本 文彦
3	41 中村 徹
4	48 深沢 泰司
5	17 上條 晃司
6	16 上條 栄一



RESULT リザルト NA1600

Rank No.	Name
1	99 竹内 秀伸
2	64 矢島 篤
3	37 秋元 優範
4	31 高橋 賢一



RESULT リザルト MR2

Rank No.	Name
1	3 土取 謙太郎
2	78 谷田 伸行
3	34 奥田 達矢
4	25 藤永 雅彦
5	20 木邨 一吉

86& BRZ

Round 3



8月22日(土) スーパーカーレース第7戦の併催レースとして86&BRZ第3戦が単独で開催された。午前中に行われた予選では23 3YS N-SPEED 86 前川佳紀が2'05.798でポールポジションを獲得。続いてフロントローには、オートマの51 86RACER'S Eventdec号 サネカタイツセイが0.074秒の差でついた。決勝レースのスタートでは、ポールからホールショットを決めた23 前川、51 サネカタと続き、5番手スタートの53 86RACER'S 平良号 平良浩幸が1コーナーで3番手に浮上。77 RS PANTERA 86 山内 正義、47 アバンテ・ML・86 落合立成と続いた。その後、抜きつ抜かれつの3・4番手争いが終始展開され、ポールトゥウィンで23 前川が9秒余りの大差を付け優勝。続いて51 サネカタが2位に入り、3位には、一旦5位まで順位を落した53 平良が、残り2週の最終コーナーで47 落合を抜いて、最終ラップを耐えてそのままフィニッシュとなった。



RESULT リザルト 86&BRZ

Rank No.	Name
1	23 前川 佳紀
2	51 サネカタ イツセイ
3	53 平良 浩幸
4	47 落合 立成
5	52 梅田 真祐
6	77 山内 正義

CJ hellow mobile
SUPERRACE CHAMPIONSHIP
Round 6

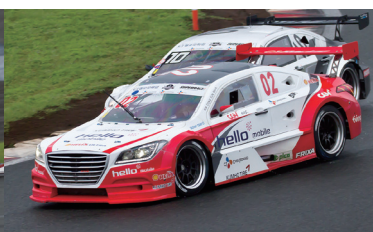


韓国で人気のカテゴリー、全8戦のシリーズは韓国国内2ヶ所のサーキットで5戦と上海で2戦、そしてここ富士スピードウェイで第6戦が開催された。2007年から始まったこのレースは日本人ドライバーも参戦しており、今回も4名がエントリーしている。土曜日の予選でトップタイムをマークしたのは日本人ドライバーの7 ECSTA Racing/井出有治 1'56.482のタイム。そこの9 ATRAS BX Racing/TIM BERGMEISTERが1'57,101でフロントローに並ぶ結果となっている。日曜日の決勝レースはウェット路面の中行われ、スタートの混戦の中をすり抜けて1周目のストレートにトップに戻ってきたのは3番手ポジションからスタートの31 INJE Racing/影山正美、そのまま徐々に後続を引き離しにかかり、20週のレースを制した。2位には9 TIM BERGMEISTER、3位に10 ATLAS BX Racing/STEVEN CHOが入った。31 影山は「今までのこのレースを見て、スタートが荒れるなどと思っていました。昨日から調子が良かったし、今回はすべてが上手くいったって勝つことができました」と話していた



RESULT リザルト 予選

Pos.	No.	Name	Time
1	7	IDE YUJI	1'56.482
2	9	TIM BERGMEISTER	1'57.101
3	12	HWANG JIN WOO	1'57.403
4	31	KAGEYAMA MASAMI	1'57.406
5	14	JUNG EUI CHUL	1'57.588
6	1	KIM EUI SOO	1'57.669
7	10	STEVEN CHO	1'57.806
8	2	KIM DONG EUN	1'58.269
9	81	JEOUNG YOUN ILE	1'58.739
10	72	RYU SI WON	1'59.521
11	68	TANIGUCHI YUKINORI	1'59.743
12	13	ABE HIKARU	2'01.080
13	86	KIM TAE HYEON	2'01.103
14	58	AHN HYUN JUN	2'02.369
15	21	KIM JIN PYO	2'02.687
16	18	AHN JUNG HWAN	4'31.323



RESULT リザルト 決勝

Pos.	No.	Name	Time
1	31	KAGEYAMA MASAMI	
2	9	TIM BERGMEISTER	
3	10	STEVEN CHO	
4	14	JUNG EUI CHUL	
5	12	HWANG JIN WOO	
6	7	IDE YUJI	
7	2	KIM DONG EUN	
8	72	RYU SI WON	
9	68	TANIGUCHI YUKINORI	
10	81	JEOUNG YOUN ILE	
11	1	KIM EUI SOO	
12	21	KIM JIN PYO	
13	86	KIM TAE HYEON	
14	18	AHN JUNG HWAN	
DNF	13	ABE HIKARU	
DNF	58	AHN HYUN JUN	